



令和 8 年度

# 木津川市予算のあらまし



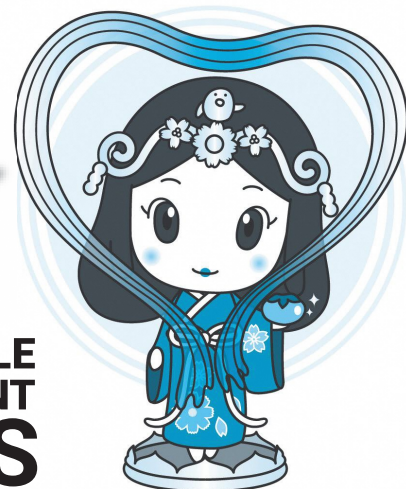
特別史跡となった恭仁宮跡（山城国分寺跡）

## もくじ

はじめに	1
令和 8 年度 木津川市予算一覧	2
一般会計歳入予算の内訳	3
一般会計歳出予算の内訳	4
グラフでみる一般会計歳入・歳出予算	5
令和 8 年度の主な事業	7
都市計画税に関する事業	14
市民ひとりあたりの予算額	巻末

木津川市の  
予算や事業  
をご紹介します。  
ます。

**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**



木津川市マスコットキャラクター  
いづみ姫

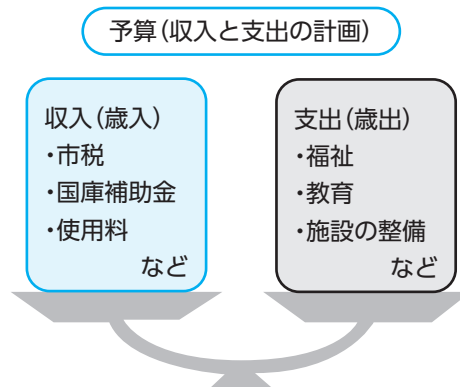
# はじめに

## 予算

地方公共団体は、市民の皆さんから納めていただいた税金などを財源として、いろいろな事務・事業(仕事)を行っています。年度の始まる前に仕事の計画とそれに必要な経費や財源について、1年間の収支計画である予算を作成しています。

また、1年間のうちには、予算案作成時の計画と状況が変わることがあります。そのときには、補正予算を作成して当初の計画変更を行います。

木津川市では、市民の皆さんから納めていただく税金がどのように使われるのか、1年間の収支計画を知っていただくために、「木津川市予算のあらし」を作成しています。



## 木津川市のおサイフ(会計)

木津川市のおサイフ(会計)は、一般会計のほかに特別会計と公営企業会計に分かれています。

一般会計は、福祉や教育、道路や公園の整備・管理等、基本的な行政サービスを提供するための会計です。

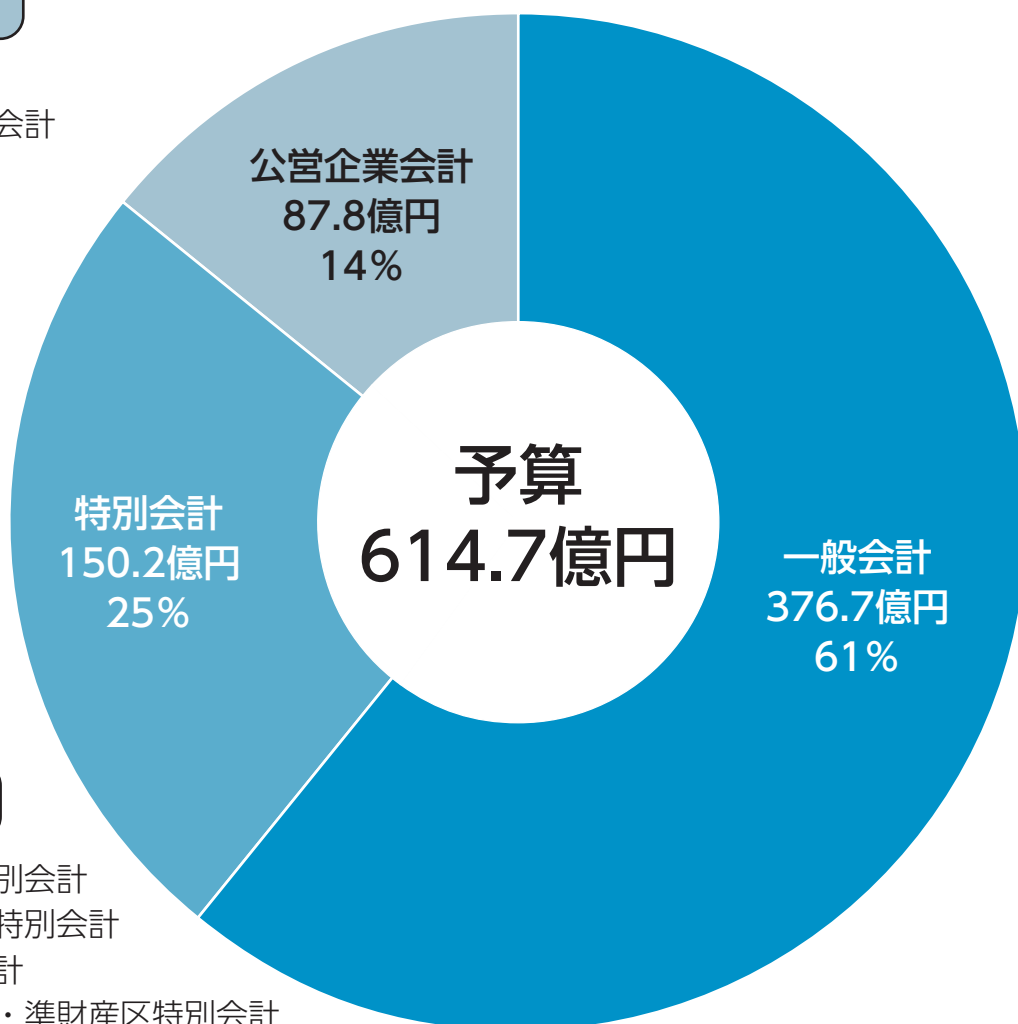
特別会計は、国民健康保険や介護保険など、一般会計と区別する必要がある特定の収入をもって特定の事業を行うための会計です。

公営企業会計は、水道、下水道事業を行うための会計で、皆さんからの使用料で運営し、民間企業と同じ経理方式をとっています。

この冊子では、一般会計の予算を中心に説明します。

## 公営企業会計

- 水道事業会計
- 公共下水道事業会計



## 特別会計

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 財産区特別会計・準財産区特別会計

# 令和8年度 木津川市予算一覧

(単位：万円、%)

会計別		令和8年度 予算額	令和7年度 予算額	比較		
				増減額	増減率	
一般会計		3,766,500	3,654,300	112,200	3.1	
特別 会計	国民健康保険特別会計	664,375	669,770	△ 5,396	△ 0.8	
	後期高齢者医療特別会計	170,241	147,989	22,252	15.0	
	介護保険特別会計	659,100	642,253	16,847	2.6	
	旧北村旧兔並村旧里村 財産区特別会計	1,050	260	790	303.8	
	旧加茂町財産区特別会計	120	100	20	20.0	
	旧瓶原村財産区特別会計	655	790	△ 135	△ 17.1	
	旧当尾村財産区特別会計	515	300	215	71.7	
	旧木津町準財産区特別会計	6,391	6,341	50	0.8	
	特別会計小計	1,502,446	1,467,803	34,644	2.4	
公営 企業 会計	水道事業会計	収益的収入 (税込み)	219,922	189,333	30,589	16.2
		収益的支出 (税込み)	215,485	200,031	15,454	7.7
		資本的収入 (税込み)	125,467	47,561	77,906	163.8
		資本的支出 (税込み)	261,614	86,080	175,534	203.9
	公共下水道 事業会計	収益的収入 (税込み)	263,359	253,921	9,438	3.7
		収益的支出 (税込み)	263,359	253,921	9,438	3.7
		資本的収入 (税込み)	85,857	120,810	△ 34,953	△ 28.9
		資本的支出 (税込み)	137,275	169,999	△ 32,724	△ 19.2
公営企業会計小計 ※ 1		877,732	710,031	167,702	23.6	
合計 ※ 2		6,146,678	5,832,133	314,545	5.4	

※ 1 公営企業会計については、収益的支出及び資本的支出の額を合計しています。

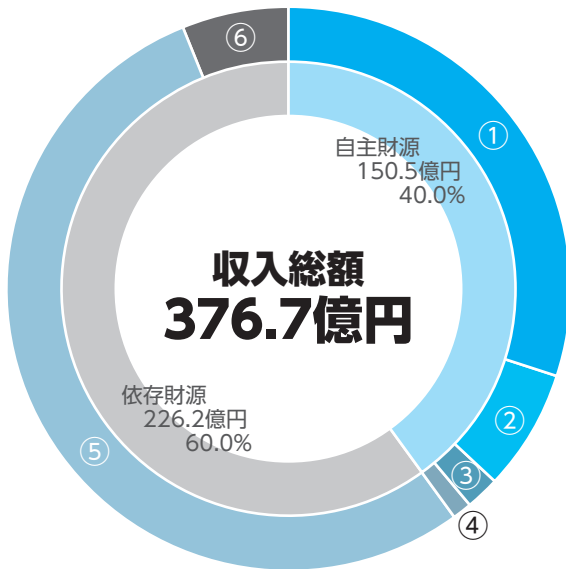
※ 2 予算額端数処理のため、合計と増減額が一致しない場合があります。

# 一般会計歳入予算の内訳

「木津川市の収入にはどのようなものがあるのか」という視点で、令和8年度の一般会計（当初予算）を例に収入の状況を紹介します。

## 一般会計歳入予算

歳入のうち、市民の皆さんから納めていただく市税は約3割です。半分以上は国や府からのお金（国府支出金）や借金（市債）などです。



**自主財源** 木津川市が自主的に収入できる財源 **150.5億円**

- ① **【市税】 113.3億円**  
市民の皆さんから納めていただく税金
- ② **【繰入金】 25.3億円**  
積み立てた基金や特別会計から受け入れるお金
- ③ **【使用料・手数料など】 6.8億円**  
施設の使用料や行政サービスの手数料など
- ④ **【その他】 5.1億円**  
財産を売ったり貸したりする収入など

**依存財源** 国や府から交付される財源 **226.2億円**

- ⑤ **【国府支出金、交付金】 205.1億円**  
国や府から交付されるお金
- ⑥ **【市債】 21.1億円**  
施設整備などのために借り入れるお金

※地方消費税交付金のうち社会保障制度の安定した財源として活用することを目的とする税率引上げ分は、11億2,478万円を見込んでおり、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、母子福祉、生活保護、国民健康保険、介護保険、年金、医療、疾病予防、健康増進などの施策（社会保障制度）を実施するための財源として活用します。

- 市税では、市民税54億6,120万円、固定資産税48億4,396万円など、全体で113億3,436万円を見込んでいます。
- 地方交付税では、国の地方財政計画などを参考に試算した結果、普通交付税71億円、特別交付税6億円を見込んでいます。
- 市債では、道路・橋りょうなどのインフラや公共施設長寿命化などの財源として、21億1,130万円の借入れを予定しています。
- 寄附金では、ふるさと納税の取組みを強化することにより、ふるさと寄附金2億150万円、企業版ふるさと寄附金3,000万円を見込んでいます。
- 基金からの繰入金では、財政調整基金から15億3,706万円、公共施設等整備基金から6億円、合併算定替減対策基金から1億3,158万円、循環型社会推進基金から7,067万円、ふるさと応援基金から6,356万円などを繰り入れ、事業の充実と歳入歳出予算の均衡を図っています。

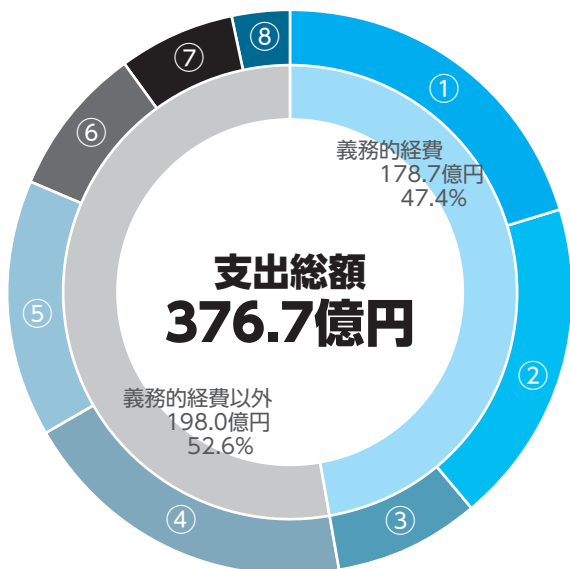
# 一般会計歳出予算の内訳

歳出予算は、財政構造や財政運営を知るために役立つ性質別と、行政サービスの水準や行政上の特性を知るのに役立つ目的別の分類方法があります。

## 性質別

### どのような経費に使うのか 【性質別】 一般会計歳出予算

扶助費、人件費、公債費のような必ず支払わなければならない経費（義務的経費）の割合が大きいほど、財政の硬直化が進んでいることを示します。



**義務的経費** 法令や性質により支出が義務付けられている経費 **178.7億円**

- ① **【扶助費】 76.8億円**  
子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者などを支援する費用
- ② **【人件費】 69.7億円**  
市職員の給料や手当、各種委員報酬などの費用
- ③ **【公債費】 32.2億円**  
借り入れたお金の返済のための費用

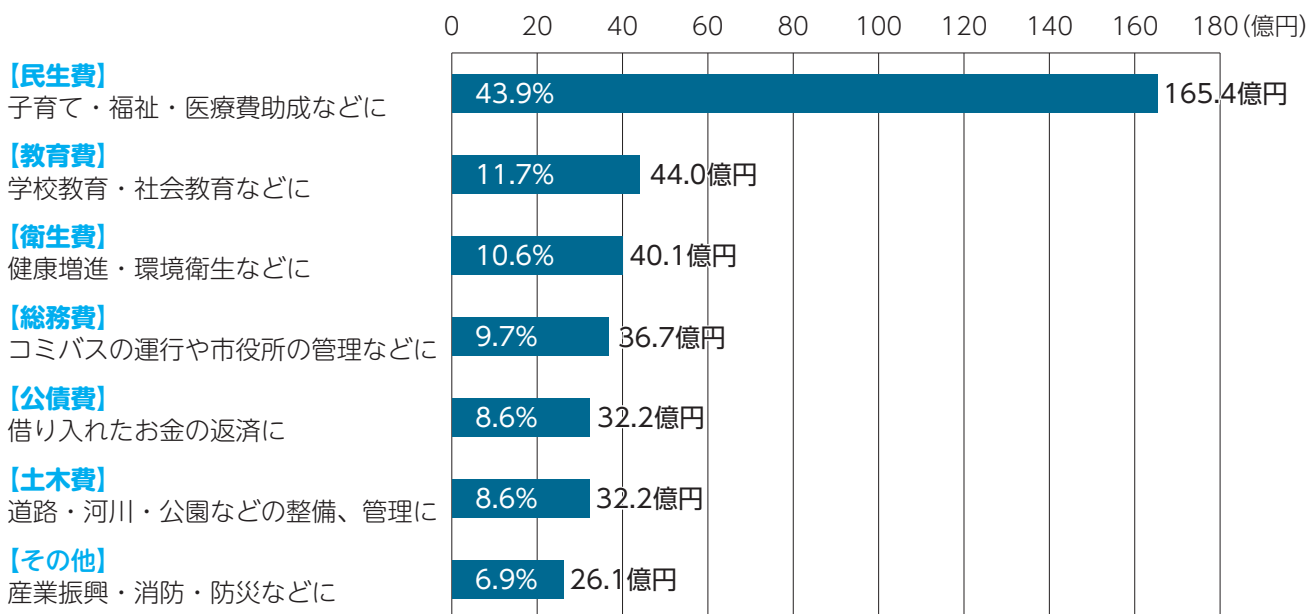
**義務的経費以外** **198.0億円**

- ④ **【補助費等】 73.5億円**  
公営企業や一部事務組合などへの各種負担金や補助金などの費用
- ⑤ **【物件費】 55.3億円**  
物品の購入など消費的性質の費用
- ⑥ **【投資的経費】 32.1億円**  
道路や学校などの公共施設を整備する費用
- ⑦ **【繰出金】 25.2億円**  
特別会計に支出する費用
- ⑧ **【その他】 11.9億円**  
公共施設の維持補修や基金への積立金などの費用

## 目的別

### 何のために使うのか 【目的別】 一般会計歳出予算

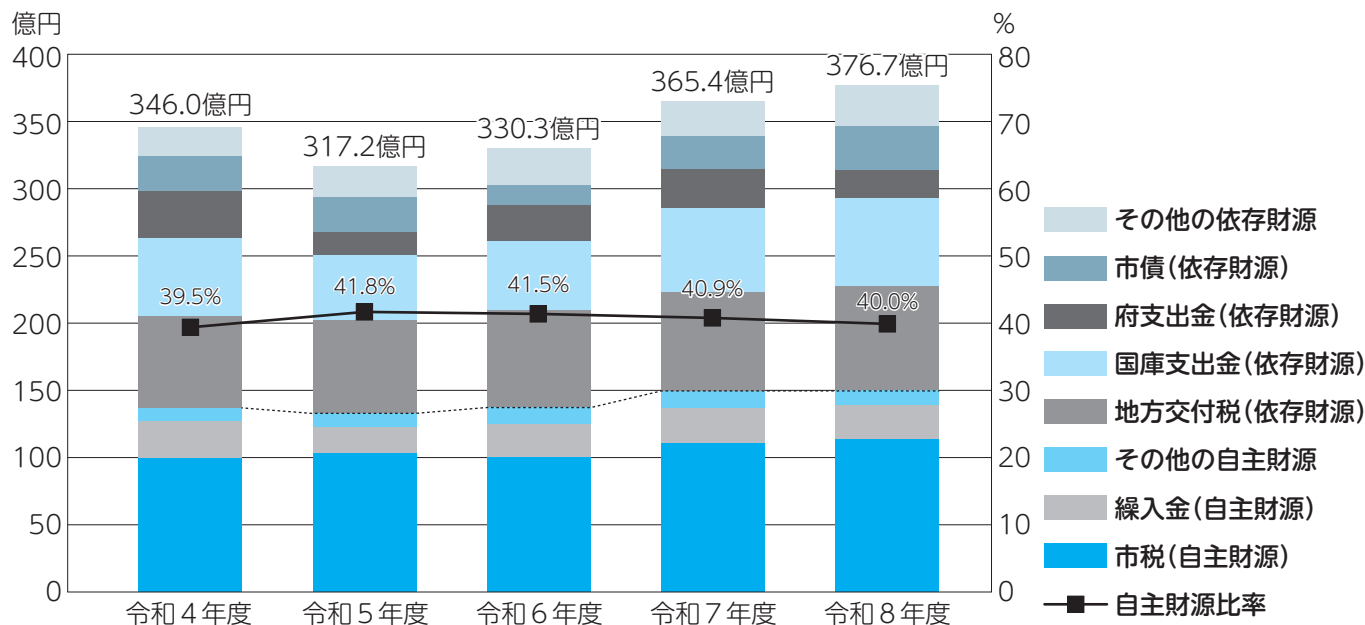
子育てや福祉、教育、健康増進、道路の整備など、それぞれの分野ごとにお金を区分しています。



# グラフでみる一般会計歳入・歳出予算

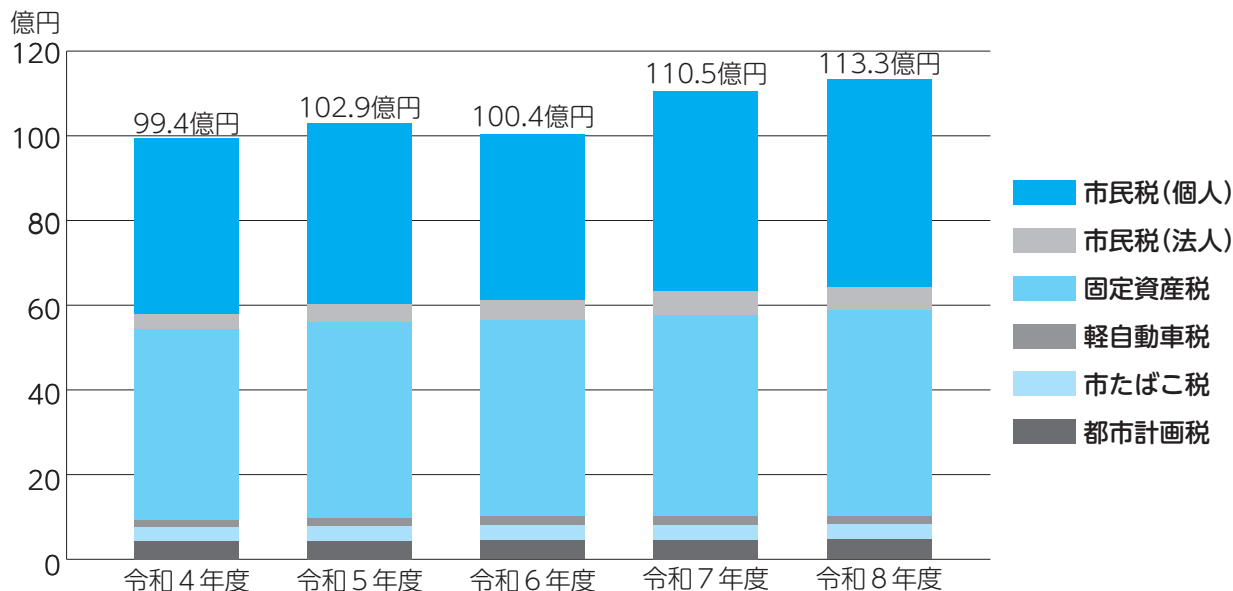
## 自主財源と依存財源

…歳入は、市税や使用料・手数料などの木津川市が自主的に収入できる**自主財源**と、国や府から交付される**依存財源**に分けられます。



自主財源が多いほど安定した自治体運営ができるとされています。  
 木津川市の自主財源比率は40%前後を推移しており、令和8年度は40.0%となりました。自主財源の大部分を占めるのは市税で、令和8年度の予算全体に対して30.1%の割合となっています。

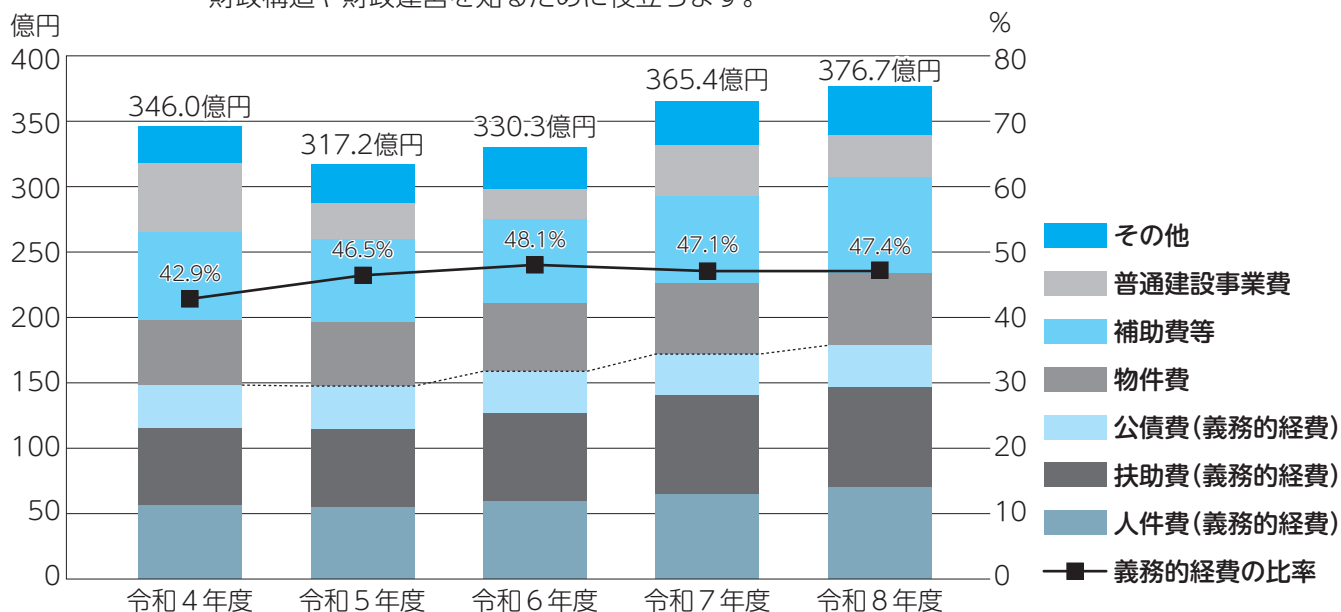
## 自主財源のうち市税の内訳



市税の内訳をみると、市民税と固定資産税が大きな割合を占めています。市民税（法人）や軽自動車税、市たばこ税の減額を見込んでいますが、それ以上に市民税（個人）や固定資産税、都市計画税の増額を見込んでおり、令和8年度の市税総額は前年度当初予算と比べて約2.6%、2億8,589万円の増額を見込んでいます。

## 性質別

…**性質別歳出**は、どのような経費にお金を使うかを示しています。  
財政構造や財政運営を知るために役立ちます。

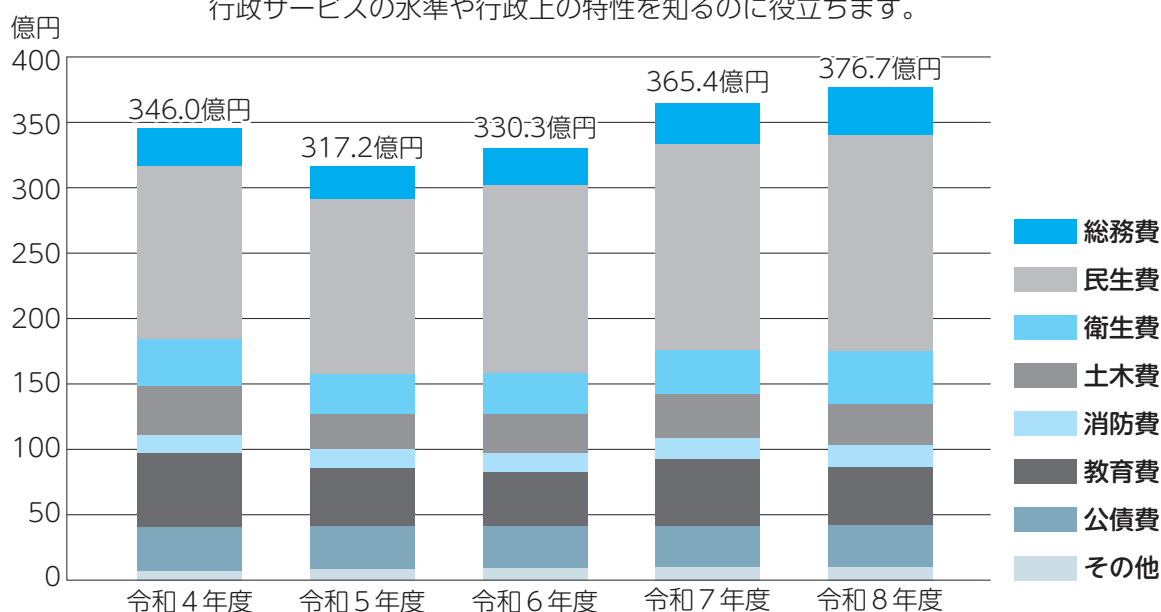


令和8年度は前年度と比べ、中学校の体育館の空調設備の整備や小川内水排除施設の整備が完了したことなどにより普通建設事業費が減額となっていますが、職員の給与改定による人件費や、給食費の負担軽減などにより補助費等が増額となっています。

義務的経費の増加は財政構造の硬直化を招く要因にもなりますので、健全な財政運営のために注意が必要です。

## 目的別

…**目的別歳出**は、何のためにお金を使うかを示しています。  
行政サービスの水準や行政上の特性を知るのに役立ちます。



令和8年度は前年度と比べ、民生費や衛生費が大きく増額となっています。民生費では、保育所運営にかかる人件費や障がい者福祉サービスの拡充などにより扶助費が増加しています。衛生費では、公営企業会計である水道事業会計や山城病院組合への負担金などが増額しています。一方、教育費は中学校の体育館の空調設備の整備及び照明LED化が完了したことなどにより減額となっています。

# 令和8年度の主な事業

令和8年度は、市制施行20周年を迎える木津川市を次代に引き継ぐため、「子どもや若者が将来に向けて希望を持てるまちづくり」、「すべての方が住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」という2つのビジョンの実現と、「第2次木津川市総合計画後期基本計画」に掲げる施策の推進とともに、地域の魅力向上や物価高騰対策など、柔軟かつ的確に、スピード感をもってまちづくりを力強く進めます。

それでは、計画の7つの基本方針の区分に沿って、本年度の主な事業について、新たな取り組みや拡充した取り組みを中心に紹介します。



©木津川市

## 基本方針 1 ともに「学び」「喜び」「成長し」 未来を生きる子どもを育むまちづくり



### インクルーシブ公園遊具整備等事業

2,427万円

市制施行20周年記念事業として、城山台公園内にインクルーシブ遊具を設置し、すべての子どもの心身の成長の場づくりを充実するとともに、これまでから実施しているこどもの「遊び」を通じたイベントを当該公園内に設置した遊具をシンボルとして実施することにより、子どもや保護者の交流を育む機会づくりと、子育て世帯が喜びと楽しみを感じながら子育てを営み、次代の社会を担う子どもたちが健やかに成長することができるまちづくりを推進します。

#### ○事業内容

- ・インクルーシブ遊具整備
- ・こどもの遊びイベント開催  
子どもや保護者同士の交流を深め、地域コミュニティの育成を図るため、令和9年3月（予定）に城山台公園内でイベントを開催



### 市内保育所等紙おむつ無償提供事業

1,500万円

令和8年7月（予定）から市内保育所等では、園児が園生活の中で利用する紙おむつ及びおしりふきを市が一括して購入・無償提供することにより、保護者の負担と保育士の個別管理による業務負担の軽減を図ります。



### 子ども誰でも通園制度

1,373万円

令和8年4月から「子ども誰でも通園制度」が始まり、保育所等に在籍していない生後6か月～満3歳未満の子どもが、市内私立認定子ども園等を利用できるようになります。



## 小学校体育館空調設備整備事業

3億4,927万円

市立小学校13校の体育館の空調設備の整備を令和7年度から令和10年度にかけて、第1期から第3期に分割し、計画的に実施します。令和8年度は、第1期3校の工事と第2期5校の設計を行います。

- 令和7年度 : 第1期3校 実施設計  
令和8年度 : 第1期3校 工事 (相楽台小学校、棚倉小学校、南加茂台小学校)  
第2期5校 実施設計  
令和9年度 : 第2期5校 工事 (木津小学校、高の原小学校、木津川台小学校、梅美台小学校、恭仁小学校)  
第3期5校 実施設計  
令和10年度 : 第3期5校 工事 (相楽小学校、州見台小学校、城山台小学校、加茂小学校、上狛小学校)



## 基本方針2 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり



### R S ウイルス母子免疫ワクチン定期接種事業

1,539万円

R S ウイルス感染症は、飛沫・接触感染により伝播し、1歳までに50%以上のこどもが、2歳までにほぼ100%のこどもが少なくとも1度は感染し、何度も感染と発病を繰り返すもので、特に重症化しやすい新生児及び乳児期早期におけるR S ウイルスを原因とする肺炎等下気道疾患を予防するため、R S ウイルス母子免疫ワクチンの定期接種を開始します。

- 対象  
妊娠28週から37週に至るまでの市民 (28週0日から36週6日まで)
- 負担内容  
全額公費
- 接種見込数  
500人



### 重層的支援体制整備事業

1,278万円

令和3年4月に「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行され、既存の相談支援等の取組みを活かしつつ、市民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築を支援する「重層的支援体制整備事業」が創設されたことを受け、地域共生社会の実現に向け、市全体の支援機関及び地域の関係者が市民等からの相談を断らずに受け止め、繋がり続ける包括的な支援体制の強化を図ります。

- 事業内容
  - ・庁内ネットワーク会議の設置・運営 (直営)  
本事業の推進に向けて、庁内で包括的な支援体制の整備の検討や情報交換を図ります。
  - ・支援会議の設置・運営 (一部委託)  
本人の同意が得られないために支援関係機関等での情報共有や役割分担等が進まないケースについて、情報共有や協議を行います。
  - ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施 (全部委託)  
制度のはざまの課題を抱える市民に対し、訪問等支援を行います。
  - ・生活困窮者のための地域づくり事業の実施 (全部委託)  
多様なニーズや生活課題に柔軟に対応できるよう、対象を限定せずに市民とつながるための居場所を設置します。

## 手話言語等コミュニケーション支援事業

110万円

「木津川市言語としての手話の普及及び障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を制定するとともに、聴覚障がい者等が参加しやすい環境を整備することを目的とし、市が実施する事業への通訳者等（手話、要約筆記）の配置を充実します。

また、周知啓発を目的として、手話の日（9月23日）にブルーライトアップ等の啓発事業を実施します。

### ○事業内容

- ・市実施事業における通訳者等（手話、要約筆記）の配置の充実
- ・手話の日（9月23日）に条例制定に係る周知啓発を目的としたブルーライトアップの実施



## 基本方針3 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり



## 市制施行20周年記念事業

449万円

令和9年3月12日に市制施行20周年を迎えるにあたり、これまでの木津川市の歩みを振り返るとともに、まちの魅力や地域資源を改めて再認識する機会とし、市民の郷土への誇り及び愛着の醸成を図ることを目的として、市制施行20周年記念式典を挙行政します。

### ○開催日

令和9年3月14日（日）午後1時30分～

### ○会 場

アスピアやましろ

### ○出席者（予定） 約360人

府知事、府議会議長、地元選出国會議員、地元選出府議会議員、府市長会長、府市議会議長会長、自治功労者、名誉市民、市議会議員、地域長、行政委員会及び審議会等の長、市内関係団体等

## 若者会議開催事業

104万円

若者世代が木津川市に興味を持ち、市への定着とふるさとへの想いを醸成するため、「若者会議」を開催します。

令和8年度は、これまでの活動の定着化とさらなる若者世代の交流促進を図るとともに、こども計画策定に向けた意見聴取の機会を設け、若者が考えるまちの将来像を描く場とします。

### ○構成

公募による市内在住及び在勤の15歳から29歳以下の若者（年間6回開催）

こども計画策定に参画する小学生から29歳以下の若者（年間1回開催）

### ○若者実施イベント開催費

令和7年度若者会議メンバーの企画提案による、世代や地域間交流を図るイベント「木津川Cute!ウォーターバトル大会（仮称）」を開催します。（令和8年7月）

# 基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり



## 特別史跡指定関連事業

4,567万円

恭仁宮跡が特別史跡へ昇格したことを契機に、その価値を広く発信し、地域の魅力向上とにぎわい創出につなげるとともに、来訪者が恭仁宮跡の全体像を理解しやすい環境を整備します。

- 史跡恭仁宮跡活用事業実行委員会負担金  
京都府と市による実行委員会が、関係機関・団体等と連携し、恭仁宮跡の知名度向上と事業のレガシー化を図ることによって、恭仁宮跡の将来的な活用整備に向けた機運醸成を行い、山城南部地域の文化観光拠点の実現を目指します。
- 特別史跡恭仁宮跡標識等設置事業  
特別史跡地内に、特別史跡指定を示す標識を新設するとともに、国道163号沿いに設置している既設の標識を「特別史跡」表示のものに更新します。
- 特別史跡恭仁宮跡公有化事業  
『史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）保存活用計画』に基づき、史跡指定地で、かつ第一種保存地区に区分された土地を優先的に、土地所有者の意向も尊重した上で公有化を推進します。
- 特別史跡恭仁宮跡公有地整備事業  
令和7年度に公有化した恭仁宮跡地内で、仮整備済みの土地に隣接する土地の仮整備を行い、一体的な活用を図ります。

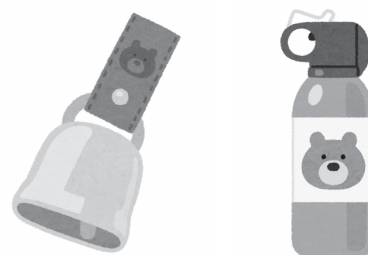


## 農業者クマ被害防止資材購入費補助金

300万円

農作業時のクマによる被害を防止するため、クマ忌避スプレー等の購入費用を補助します。

- 対象者  
市内農業者
- 対象備品  
クマ忌避スプレー、携帯ラジオ、クマ鈴、ホイッスル、爆竹等
- 補助内容  
クマ出没対策用品購入費の1/2  
上限額 1万円



## 農業持続化支援事業

2,531万円

物価高騰の影響を受けた農業者・農業法人を支援するため、販売金額に応じた給付金を支給します。

また、環境にやさしい農業への転換を推進するため、肥料等の必要な経費の一部を支援します。



## 産業競争力強化支援補助金

2,000万円

市内産業の持続的な発展性の確保を図るため、事業者が競争力の強化等に取り組む経費を補助します。

### ○対象者

市内に事業所を有する企業若しくは市内に住所及び事業所を有する個人事業者又はその2者以上の者が構成した団体等

### ○支援内容

- ・事業活動の発展に対する支援  
認証取得事業、知的財産権取得事業、展示会等出展事業、販路拡大事業、商品開発事業、BCP・サイバーセキュリティ対策事業
- ・スタートアップに対する支援  
スタートアップ支援事業
- ・人材確保に対する支援  
雇用促進事業、人材育成（リスキリング）事業

### ○補助率

1/2以内（事業に応じて上限あり 5万円～30万円）

## 賃上げ応援支援補助金

5,000万円

物価上昇を上回る賃上げの定着に向け、賃上げを行いやすい環境整備を促進するにあたり、一定以上の賃上げ（基本給）を行う市内中小企業者を支援するため、補助金を支給します。

### ○対象者

正規雇用者に対し、5%以上の賃上げ（基本給）を行った市内事業所（中小企業）

### ○補助内容

正規雇用者1人あたり5万円  
上限額 1事業所あたり50万円（10人分）



## 基本方針5 災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり



## 防災用品購入費補助金

500万円

各家庭では、食料の備蓄は進んでいるものの、断水時の在宅避難を想定した携帯トイレ・簡易トイレの備蓄は、低調となっています。

また、能登半島地震の教訓などから、各家庭における家具の転倒防止、通電火災防止の取組みが必要になっています。

これらの災害時の対策を強化するため、各家庭における防災用品の購入費用を補助します。

### ○対象者

市内世帯

### ○対象備品

携帯・簡易トイレ、家具転倒防止用資材、感震ブレーカなど

### ○補助内容

補助率 1/2

上限額 1世帯あたり5,000円



## 防犯対策機器購入費補助金

2,000万円

防犯対策を強化するための支援として、防犯カメラ等の購入費用を補助します。

- 対象  
市内世帯
- 対象備品  
防犯カメラ、センサーライト等
- 補助内容  
補助率 1 / 2  
上限額 1世帯あたり2万円



## 消防団指揮・広報車調達等事業

1,586万円

老朽化した指揮車を更新するにあたり、消防機能の強化を図るため、現在のセダンタイプから、ミニバンタイプに変更し、人員輸送力の増強及び資機材運搬能力の向上を図るとともに、広報活動にも活用可能な指揮・広報車とします。

また、消防団各部に配備している小型動力ポンプ付積載車も、1台を更新する予定です。



## 基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり



## 木津駅東地区事業化検討調査事業

2,409万円

木津駅の東側は、中心都市拠点の機能強化と文化学術研究地区との連続性を高める重要なエリアとして位置付けられています。また、城山台の開発進展に伴い、土地利用のポテンシャルが高まっており、一体的な都市形成を進めることで、中心都市拠点としての機能向上が期待されることから、将来を見据え、周辺環境に配慮しつつ、計画的な市街地の形成や交通アクセスの向上について検討を進めます。

- 事業内容  
現況整理  
開発手法の整理  
事業化可能性検討  
(事業区域の検討、概略土地利用図の作成、概算事業費の算出、事業化計画の検討、事業化に向けた課題整理、企業ヒアリングの実施)  
地権者アンケートの実施  
対象エリアの選定



## 木津駅東道路整備事業

9,873万円

木津駅の東側のまちづくりを進めるため、木津駅へのメインアクセスを補うルートを形成し、地域防災力の向上を図ります。令和8年度は、道路の詳細設計及び用地測量を進めます。また、木津駅前東線においては右折レーンの改修や送迎車両の退避スペースの確保などの渋滞緩和対策に取り組みます。

- 令和7年度：道路概略設計
- 令和8年度：道路詳細設計、用地測量、  
木津駅前東線の渋滞緩和対策実施
- 令和9年度：事業用地買収
- 令和10年度：工事着工

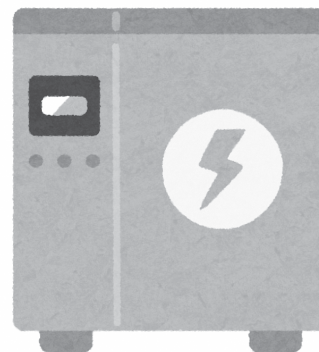


## 蓄電設備設置費補助金

1,200万円

新たに蓄電設備を導入される家庭に対して、購入費用を補助します。

- 対象
  - 市内世帯
- 対象備品
  - 蓄電設備（太陽光発電設備に常時接続するものに限る。）
- 補助内容
  - 補助額 蓄電容量1kwhあたり4万円
  - 上限額 20万円
- その他
  - 木津川市エコ生活応援補助金との併用可能



## 基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり



## シティプロモーション動画制作費

200万円

市制施行20周年を迎えるにあたり、木津川市の認知度向上と魅力発信の強化を図るため、新たにシティプロモーション動画を制作します。

本動画は豊かな自然や歴史、産業、住環境といった地域資源を活用し、移住・定住検討層、子育て世代、若年層を主なターゲットに、本市で暮らす魅力や将来性を直感的に伝える内容を予定しています。

- 主なポイント
  - ・現在のまちの姿を反映した映像への更新
  - ・子育て環境、教育環境、自然環境、都市利便性等の総合的な魅力発信
  - ・SNS時代に対応した動画の制作

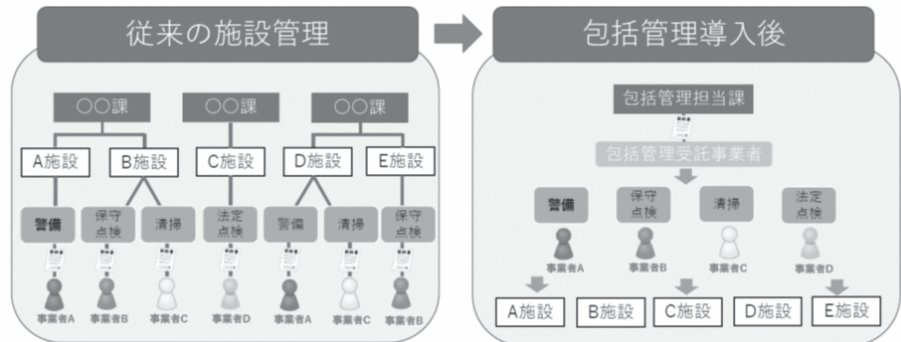


## 公共施設包括管理事業

2億213万円

管理水準の統一、施設管理の質の向上等を図ることにより、施設利用者の安心・安全と持続可能な公共施設の管理運営につなげるために、維持管理や修繕業務を専門的知識やノウハウを持つ事業者へ包括的に委託します。

- 委託期間  
令和8年4月1日  
～令和13年3月31日
- 対象施設  
99施設
- 委託業務  
維持管理業務、修繕業務、  
マネジメント業務



## 都市計画税に関する事業

### ■都市計画税

都市計画税は、市街化区域内にある土地や家屋にかかる税金で、都市計画事業に要する費用に使われるものです。都市計画事業とは、道路、公園、下水道などの施設整備や市街地開発です。税率は上限0.3%ですが、木津川市では0.15%に軽減しています。

令和8年度の予算で都市計画税に関する事業は下記のとおりです。都市計画事業の実施に必要な一般財源7億3,023万円のうち、都市計画税によって4億6,540万円をまかなう予定です。



©木津川市

### ■実施している都市計画事業

(単位：万円)

事業の内訳	予算額
地区計画道路整備事業	691
山手幹線整備事業	270
公共下水道事業会計負担金	59,111
公共下水道事業会計出資金	3,826
都市計画事業に充当した市債の償還金	9,845
<b>歳出合計</b>	<b>73,743</b>

(単位：万円)

財源の内訳	予算額
市債	720
一般財源	73,023
うち都市計画税	46,540
<b>歳入合計</b>	<b>73,743</b>

ぐるぐる♪ 新規スタッフ募集中! / テレビCM放送中♪

**大栄環境グループ**  
**三重中央開発株式会社**

京都リサイクルセンター  
〒619-1132 京都府木津川市加茂町大畑背台38番地1  
TEL 0774-76-6623

## 株式会社タカコ 京都工場・技術革新センター

タカコの未来を拓く技術・工法開発の中核拠点誕生!!

当社は「はたらくるま」に搭載される部品を取り扱う会社です。油圧ピストン部品の世界シェアNO.1!!

**正社員（製造）募集!!**

連絡先：saiyo@takako-inc.com 人材企画課 笠井、坂根

所在地：京都府木津川市城山台二丁目2番地2 TEL：0748-82-3609

タカコ社案内

# 市民ひとりあたりの予算額



©木津川市

令和8年度の予算額を一般家庭の生活費に例えて紹介します。

一般会計予算を市民ひとりあたりにすると、約47万8千円となり、前年度予算（約46万2千円）と比べて約1万6千円増加しました。

収入では、給与にあたる市税、各種譲与税、交付金などが大きく増えている状況にあります。また、支出では、家の修繕・増改築費にあたる普通建設事業費などが減っていますが、それ以外の費用は増えています。特に、食費にあたる人件費や町内会費、サークル活動などにあたる補助費等が大きく増えています。

家計の収入のうち最も大きな割合を占める市税では、左下の表のとおり、市民ひとりあたりの市税は前年度から約4千円増加しました。

(単位：円)

市民ひとりあたりの収入 (歳入)	令和8年度	令和7年度
給与 (市税、各種譲与税、交付金など)	292,188	278,944
うち消費税率引上げによる 地方消費税交付金の増分	14,286	12,060
親からの仕送り (国庫・府支出金など)	127,271	118,618
ローンの借入 (市債)	26,816	30,894
貯金からの引出し (繰入金・繰越金)	32,108	33,435
合計	478,383	461,891

(単位：円)

市民ひとりあたりの市税	令和8年度	令和7年度
市民税(個人)	62,416	59,738
市民税(法人)	6,946	7,078
固定資産税	61,523	59,855
軽自動車税	2,634	2,678
市たばこ税	4,527	4,597
都市計画税	5,911	5,703
合計	143,957	139,649

(単位：円)

市民ひとりあたりの支出 (歳出)	令和8年度	令和7年度
食費 (人件費)	88,463	82,117
医療費など (扶助費)	97,591	95,525
光熱水費・日用品費 (物件費)	70,193	68,673
こどもへの仕送り (繰出金)	32,056	30,698
家の修繕・増改築費 (普通建設事業費など)	49,472	57,641
ローンの返済 (公債費)	40,897	39,733
町内会費、サークル活動など (補助費等)	93,310	83,980
貯金 (積立金など)	6,401	3,524
合計	478,383	461,891

※金額は、令和8年度と令和7年度の予算額を各年の4月1日現在の人口で割ったものです。

## 令和8年度木津川市予算のあらまし

発行 令和8年6月 木津川市総務部財政課  
 電話番号 0774-72-0501(代表)  
 0774-75-1202(直通)  
 E-mail zaisei@city.kizugawa.lg.jp

令和8年4月1日現在の木津川市人口 78,734人

令和7年4月1日現在の木津川市人口 79,116人

ならしんは  
**ATM 入出金手数料  
 終日無料** だよ！

※当金庫のキャッシュカードで当金庫 ATM をご利用の場合

**奈良信用金庫**

木津川支店 ☎0774-72-4411

「ちょっと便利なしあわせ」

**南都銀行  
 アプリ**

アプリストアで  
 「南都銀行」と検索！



(木津支店) TEL.0742-81-7451

食と地域のパートナー  
**JA 京都やましろ**

木津支店 TEL:0774-72-1771  
 山城支店 TEL:0774-86-2276  
 加茂支店 TEL:0774-76-2063